

報道関係者各位

2018年5月31日

「The 2018 All-Japan Executive Team Rankings(ベストIR企業ランキング)」  
**建設セクターで「Most Honored Company(最優秀企業)」に選定**

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:熊切直美)は、世界的に著名な米国大手金融情報誌インスティテューショナル・インベスター誌が5月15日(現地時間)に発表した、「The 2018 All-Japan Executive Team Rankings(ベストIR企業ランキング)」の建設セクターにおいて、「Most Honored Company(最優秀企業)」に選定されたのでお知らせします。

■The 2018 All-Japan Executive Team Rankings(ベストIR企業ランキング)について。

本ランキングは、日系企業27セクターを対象に2013年より開始され、1,000名を超える世界の機関投資家・証券アナリストの投票結果をもとに、優れたIR活動を行う日本の上場企業をInstitutional Investor誌が選出しているものです。

当社は建設セクターに属し、評価項目のうち「IR担当者」で1位、「IR活動」で2位、「最高財務責任者」で3位に選出される等により、最も栄誉ある最優秀企業に選ばれました。

最優秀企業は、全27セクター計838社のうち82社が選出されています。

▼詳細は、Institutional Investor誌のWEBサイトにてご覧いただけます。

<https://www.institutionalinvestor.com/research/7937/The-All-Japan-Executive-Team>

■大東建託のIR活動

当社は、経営の透明性を経営基本方針の一つとしています。

1992年より継続して月次業績速報を開示しており、受注高や入居率等主要な指標を開示しています。また、昨今賃貸住宅の空室率が注目を集める状況において、これまでの家賃ベース入居率に加え、件数ベースでの入居率を新たに開示するなど、投資家様が求めている指標を適宜開示しています。

投資家・アナリスト向け説明会等においては、四半期ごとの決算説明会のほか、年間200回以上の電話や1on1ミーティングなどの取材対応、CEO・CFOによる海外投資家訪問(海外ロードショー)、年2回の現場見学会といった事業理解を促進する取り組みを継続しつつ、投資家様の関心の高いESGに関する非財務情報の積極的な開示にも努めています。

今後も、公平・公正かつ適切な情報開示と、ステークホルダーの皆さまとの積極的な対話により、持続的な成長とさらなる企業価値の向上に取り組んでいきます。

< 本件に関するお問い合わせ >

大東建託株式会社 広報部 広報CSR課 TEL:03-6718-9174